

令和3年度

南アルプス市障害者自立支援協議会報告書

令和4年6月

南アルプス市障害者自立支援協議会

はじめに

令和3年度南アルプス市障害者自立支援協議会報告書をお届け致します。

まだまだ続くコロナ禍の中、定例会・専門部会・連絡会・運営会議がそれぞれ工夫を凝らしながら、協議の場を大切に活動してきました。

今年度の成果として、感染症対策BPC作成プロジェクトチームではガイドラインを作成し市内事業所へ送付。こども部会では子どもの相談体制について南アルプス市長に提言。地域移行部会では県内精神科病院の実態調査や事例検討会等の継続実施。権利擁護部会では令和4年度に設置義務となっている「虐待防止委員会設置」に向けアンケートや研修を行ってきました。さらに、年度末の自立支援協議会定例会では、相談支援体制について公に協議をしあう場が必要であることが決議されました。令和4年度からは相談支援プロジェクトチームが発足します。

障害者が安心してこの町で暮らせるには、この町に住んでよかったと思える地域にしていくには、協議の場からしっかりと地域創りに発展させていくことの大切さを感じています。

この報告書が多くの方に触れて頂くことにより、障害を持ちながらも幸せに暮らせる地域創りに関心を向けてければ幸いです。

南アルプス市障害者自立支援協議会副会長 渡邊 充恵

目次

はじめに	1
自立支援協議会について	2
地域の困難事例から展開する自立支援協議会<図>	3
令和3年度自立支援協議会体制図	4
協議会ダイジェスト	
定例会	7
専門部会 地域移行部会	8
専門部会 権利擁護部会	10
専門部会 子ども部会	12
連絡会 計画相談事業所連絡会	14
就労事業所共有会議	16
感染症BCP作成PT	18
地域生活支援拠点事業	25
障害者施策推進協議会	26
年間スケジュール	
令和3年度南アルプス市障害者自立支援協議会 委員名簿	28

南アルプス市障害者自立支援協議会について

●障害者自立支援協議会とは

南アルプス市で暮らしている方で、障害や病気のある方（当事者）が地域での生活を送るうえでは、「必要な制度や福祉サービスの不足や使いにくさ」「必要な情報が届いていない」等の課題があります。また、当事者の地域生活を支える支援者においても、当事者のよりよい生活の実現を目指す中で、地域に必要な支援体制が整っていないために「すぐには解決できない」課題に直面することがあります。

南アルプス市障害者自立支援協議会は、このような課題を地域の福祉課題として取り上げて、様々な立場の支援者が解決に向けて話し合う場です。

※参考図：地域の解決困難事例から展開する自立支援協議会 p 2 掲載

●実施体制

次の4つの形態の会議で構成され、市障害福祉課と障害者相談支援センターが事務局を務めています。

- | | | |
|--------|---------------------------------|--------|
| 「定例会」 | 地域の関係機関の実務者による地域の福祉課題の解決に向けた協議 | (定期開催) |
| 「運営会議」 | 正副会長と事務局による地域の福祉課題の整理や協議の方向性の確認 | (定期開催) |
| 「専門部会」 | 定例会で協議された課題等に対する具体的な取り組みの場 | (随時開催) |
| 「連絡会」 | 同種の事業所間による情報共有やネットワークづくりの場 | (定期開催) |

各会議が相互に連動することで協議会は活性化し、当市の障害者相談支援体制の充実に結びつきます。言い換えれば、当事者が「その人らしく、よりよく生活する」ことの実現の鍵は、自立支援協議会が活発に動くことです。また、協議会で話し合われたもので、施策化が必要となるものは障害者施策推進協議会で取り上げられることとなります。

※参考図：令和3年度 南アルプス市障害者自立支援協議会体制図 p 3 掲載

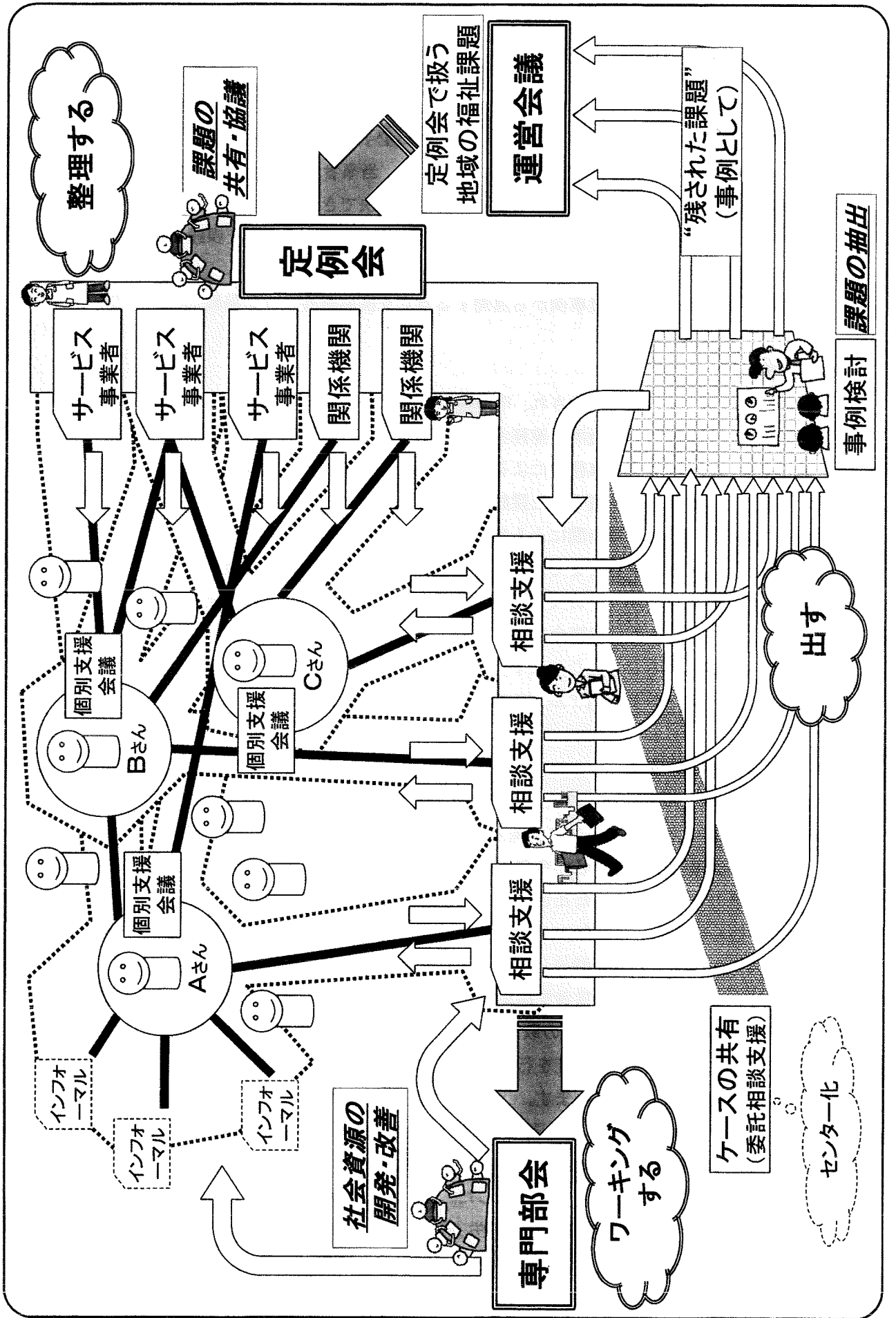
●令和3年度の活動概要

新型コロナウイルス感染症の拡大により思うように活動できない月もありましたが、リモート会議システム等を活用することで、コロナ禍前と同水準の活動を行うことが出来ました。

- ・ 定例会では障害当事者2名が今年度から新たに定例会委員として加わり、当事者の視点から協議会の各活動のアイデアをいただきました。また、後半は相談支援事業の課題解決の場の設置に向けた議論が盛んに行われました。
- ・ 地域移行部会では昨年度開発したツールを活用し、県内精神科病院の実態調査を今年度も引き続き行っています。また、障害者支援施設からの地域移行に向けた取り組みも始まりました。
- ・ 権利擁護部会では、虐待防止の取り組みへの更なる推進に向け、市内事業所に虐待防止への取り組み状況に関するアンケート調査を行いました。また、障害者虐待の通報の流れや、市虐待防止センターの周知も積極的に行っています。
- ・ 子ども部会では、「子どもの相談支援体制への提言」「子どもの居場所づくり」を目標に、子どもの成長に必要な支援体制に関する課題や問題点に対して実態把握を行い、南アルプス市としてあるべき方向性について提言としてまとめました。

専門部会の他にも相談支援事業所、就労支援事業所それぞれの連絡会での情報共有や、新型コロナウイルス感染症事業継続計画（BCP）の作成など様々な活動を行いました。

地域の“解決困難事例”から展開する自立支援協議会



協議会ダイジェスト

令和3年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

-協議会の司令塔、地域の福祉課題の解決に向けたアイデア出し、専門部会の進捗管理-

定例会

●定例会について

- ・一人の当事者の困り事や支援者の抱える支援の困り感から見えた地域の福祉課題について、課題解決に向けた方策を協議します。
- ・地域の福祉課題についての協議の他、専門部会や連絡会の動きを進捗管理する機能により、自立支援協議会の核となる役割を果たしています。

●この1年の動きや出来事

- ・今年度より委員として当事者2名に参画していただき、協議会の活動に対して当事者目線でのご意見をうかがいました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により、初回が書面開催となりました。
- ・地域移行部会、権利擁護部会、子ども部会、3つの専門部会の活動について進捗状況を共有し、具体的に実行性のある活動につなげるための協議を進めました。
- ・計画相談連絡会・就労支援事業所共有会議の活動状況を共有しました。
- ・相談支援における地域課題の解消に向け、当市にはどのような場が必要なのか協議を行いました。

●次年度の活動

- ・相談支援における地域課題の解消に向け、自立支援協議会内にプロジェクトチームが発足します。

●委員

会 長：田中 正志（生活支援センタークローバー）

副会長：渡邊 充恵（相談支援センターカマラド）

委 員：久保川 忠（障害者施策推進協議会会長） 有野 哲章（地域移行部会会長）

菊原 一恵（権利擁護部会会長） 渡邊 美南子（子ども部会代表）

早川 秀己（計画相談連絡会） 保坂 貴識（計画相談連絡会）

工藤 伸治（峡西病院） 前嶋 花織（やさしい手）

飯室 正明（中北圏域マネージャー） 大須賀 由夏（南アルプス市社会福祉協議会）

笹本 信仁（南アルプス市教育委員会） 清水 亮（たいよう）

清水 健太郎（南アルプス市福祉総合相談課） 小林 清美（北部包括支援センター）

玉置 裕司（当事者） 岩出 広子（当事者）

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

地域移行部会

●地域移行部会について

- ・精神科病院（以下、「病院」）に長期入院されている方の地域生活への移行と長期入院の予防に取り組みます。
- ・障害者支援施設からの地域移行支援に取り組みます。
- ・地域生活への移行に向けた実際の支援を通して支援のモデルを作ること、南アルプス市として精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを整えること、医療と福祉の連携体制を構築することを目標にしています。

●この1年の動きや出来事

- ・昨年度からのコロナ禍により、活動を制限せざるを得ませんでした。そのため今期は、部会のリモート開催や少人数での企画実施など、工夫を凝らして活動してきました。
- ・第3回目となる県内病院の実態調査を実施。その結果をもとに病院を訪問し、昨年度開発した「地域移行評価シート」を用いて患者と面談を実施しました。これまでのマトリクス整理だけでは見えづらかったことも見えてきました。引き続き結果の分析を進め、具体的な退院支援の拡充に取り組んでいきます。
- ・「施設職員の気持ちを聴く会」と題したインタビュー会を開催しました。施設からの地域移行を考えていくうえで、貴重な意見を聴くことができました。今後は、施設からの地域移行支援の啓発・拡充を図ります。
- ・事例検討会「高齢精神障害者の地域移行を考える」を開催しました。障害福祉や医療従事者だけでなく、高齢者福祉の専門職も多数参加していただき、地域移行支援について考える絶好の機会となりました。まだまだ、地域移行支援は他分野には浸透していないため、今後は啓発活動にも取り組んでいきます。

●次年度の活動案（新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら実施）

- ・地域移行支援の実践と進捗管理を行います。また、入所施設利用者の地域移行実践を計画していきます。
- ・病院の訪問を再開し、長期入院患者との面会を通して地域移行支援の導入につなげていきます。独自開発の地域移行評価シートを用いて患者のストレンクスをアセスメントし、効果的な退院支援を模索していきます。
- ・高齢精神障害者の事例検討の実施、及び障害、介護、医療、行政の連携強化やスキルアップを図ります
- ・ピアサポーターとの連携や協働、育成について協議します
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向け、より具体的な議論や取り組みを加速していきます。

●部会員

部会長：有野（蒼溪会）

部会員：塩澤（峡西病院）、高橋（県立北病院）

木村（カマラド）、久保・藏條（きづな）

小野（クローバー）、小池（地域包括支援センター）

石川（中北保健所）

事務局：小笠原・高野（障がい福祉課自立支援担当）

遠藤・鹿山（障害者相談支援センター）



令和3年度 南アールプス市障害者自立支援協議会 地域移行部会 年間予定表

【趣旨】社会的入院の解消と長期入院の予防 施設入所者の地域移行の推進

【活動目標】

- ① 精神科病院の社会的入院の解消に向けて、実践モデルをつくる
- ② 南アールプス市における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に係る取り組みを推進する
- ③ 医療と福祉の連携体制を構築する
- ④ 施設入所者の地域生活移行の取り組みを推進する

【今年度の目標】

- ① 地域移行支援の実践と進捗管理
- ② 実態調査の実施と地域評価シートによる分析
- ③ 人材の育成
- ④ ピアサポーターとの連携、及び協働
- ⑤ 入所施設利用者に関するアンケート結果の分析と地域移行導入の取り組み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程	第1回 4月9日(金) 10:30～12:00	第2回 5月7日(月) 10:30～12:00	6月中止	第3回 7月16日(金) 10:30～12:00	第4回 8月20日(金) 10:30～12:00	第5回 9月21日(火) 10:30～12:00	第6回 10月22日(金) 10:30～12:00	第7回 11月12日(金) 10:30～12:00	第8回 12月17日(金) 10:30～12:00	第9回 1月14日(金) 10:00～12:00	第10回 2月22日(火) 10:30～12:00	第11回 3月11日(金) 10:30～12:00
個別支援	・趣旨説明と振り返り ・地域移行を推進するため、行政・相談支援事業所・医療機関に期待されている機能	↑	・施設入所者の地域移行対象者の検討 ・アプローチの方法について検討	・個別の支援を展開 ・支援の進捗管理	・長期入院患者への地域移行対象者の検討				次年度に向けた計画策定		年度総括	
事例検討	・面会方法の協議	・面会スケジュールと面会者の調整	評価シートの使い方、結果のまとめ方の確認	調査実施								
ピアサポーター												
入所施設利用者	・入所施設利用者に関するアンケートの分析を加えた最終報告の提示	↑										
内容												
定例会												
日程								11月15日(月)				2月24日(木) リモート開催

権利擁護部会

●権利擁護部会について

- ・虐待防止を主眼として、市の体制や福祉現場の支援の質の向上について考えることを趣旨として活動しています。
- ・障害者福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図とした研修の企画を行いながら、南アルプス市の障害者虐待防止体制の在り方をまとめます。
- ・障害者の権利を守るために、市内障害福祉サービス事業所への情報発信と啓発活動に取り組みます。

●この1年の動きや出来事

- ・従事者向け研修では山梨県立大学の山中達也先生に講師を依頼し、福祉現場で働き始めた職員を中心に、支援者自身のメンタルヘルスを目的とした研修を今年度はZoomで開催しました。
- ・キャラバン研修では部会員が事業所とZoomでやり取りをしながら事例をもとに虐待について共に考え、通報の流れや虐待防止センターの機能の説明も内容にして周知をしました。
- ・令和4年度に向けて「虐待防止の取り組みへの更なる推進」に向けた周知への取り組みとして、市内の福祉事業所に「虐待防止への取り組み状況」のアンケート調査を実施しました。
- ・今年度は新たに、虐待防止センターより虐待通報の流れや虐待防止センターの機能の説明や周知を、計画相談連絡会や就労事業所共有会議、キャラバン研修等で行って頂きました。
- ・部会の趣旨と活動目標について、今の部会で取り組む地域課題を整理して、次年度のスタートに合わせて改定していくことを検討しています。

●次年度の活動

- ・「虐待防止への取り組み状況」のアンケートを実施し、取り組みが出来ていない事業所の多さや回収率の低さなど、虐待防止に対する意識の低さがまだある事が見えてきた為、幅広く虐待防止の周知や研修会の企画を行っていきます。
- ・今年度新たに権利擁護センターが立ち上がり、研修会への協力等の連携が上手く図れなかったところがありましたが、次年度は研修周知等の協力・連携を進めていきます。

●部会員

部会長：菊原（相談室つなぐ）

部会員：内藤（育精福祉センター児童寮）

中村（相談支援事業所ぽけっとはうす）

前嶋（やさしい手南アルプス事業所）

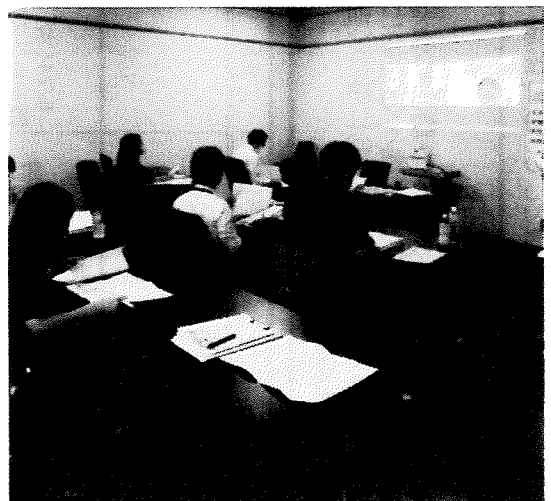
小林（障害福祉課自立支援担当）

清水（総合相談課相談支援担当）

小田嶋（障害者相談支援センター）

事務局：宮川（障害福祉課自立支援担当）

遠藤（障害者相談支援センター）



令和3年度 南アールプス市自立支援協議会 < 権利擁護部会 > 年間予定表

【趣旨】 虐待防止を主眼として、市の体制や福祉現場の支援の質の向上について考える

【活動目標】

障害者虐待の事例や、虐待対応及び防止に係る体制を評価検証する。
 障害福祉従事者の実情に即し、実践へ効果的に還元されることを意図した
 研修の企画、関連施策・機関との運動に基づく当市の障害者虐待防止体
 制の在り方をまとめる。

【今年度の活動目標】

市内障害福祉サービス事業所への情報発信と啓発活動を行う。
 障害福祉従事者に向けて、障害者虐待防止法や当市における虐待防止センターの
 周知、虐待防止の啓発活動・研修会の開催。
 権利擁護センター主催研修会への協力。
 『虐待防止の取り組みへの更なる推進』に向けた周知への取り組み。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程	第1回 4月19日	第2回 5月17日	第3回 7月16日	第4回 9月8日	第5回 11月24日	第6回 2月14日						
虐待防止 研修 他		5/26(水) 10:15~ 障害者虐待 防止基礎研 修 @みどりの家 →感染症の 状況を考慮し 中止	6/24(木) 南アールプス市 障害者虐待 防止従事者 向け研修 講師：山達也 先生	9/22(水) 障害者虐待 防止基礎研 修 (キャラバン) @あおば白根 (ZOOM)	サービス提供 事業者向けア ンケート (虐待防止等 取り組み状 況)	2/28 障害者虐待 防止基礎研 修 (キャラバン) @さかき会 →感染状況を 考慮し次年度 に延期	3/18 障害者虐待 防止基礎研 修 (キャラバン) @ステップあ い					
事務局会議	4月14日		6月14日	9月2日		1月18日						
内容	・今年度の 活動の確認 ・研修会につ いて	・研修会につ いて	・従事者向け 研修振り返り ・キャラバン研 修について	・キャラバン研 修について ・アンケート実 施について							・振り返り ・次年度に向 けて	
虐待防止 センター												
定例会日程			6月17日			11月15日					2月24日	

令和3年度 南アルプス市障害者自立支援協議会ダイジェスト

専門部会

-地域の福祉課題を解決する-

子ども部会

●子ども部会について

子ども部会は、子どもの発達課題（医療的ケア含む）に対し、福祉サービス利用前からの各関係機関の対応状況を客観的に検証し、適正な支援や対応ができるよう意見交換、調査、研究を重ねてきました。

●この1年の動きや出来事：

今年度は「子どもの相談支援体制への提言」「子どもの居場所づくり」を目標に、子どもの成長に必要な支援体制に関する課題や問題点に対して実態把握を行い、南アルプス市としてあるべき方向性について提言としてまとめました。それを、障害者施策推進協議会に諮り、市の子ども相談体制への提言として挙げていきます。

そこから出された対応策として、発達障害理解促進のため、市民レベルの取り組みとして座談会やペアレントトレーニングを実施しました。今後はでのピアの関係への発展へと期待し検討しているところです。この事業は来年度出来る子ども家庭支援拠点の方に移管し、継続的に行われるよう準備しているところです。

また、子どもたちの居場所づくりとして、研修会を実施。居場所を考える素地づくりとしました。

そして、医療的ケアについては、医療から地域への情報の入り口である母子保健との情報連携について協議し、対象者把握や大切な個人情報の管理体制について、整えることが出来ました。

●次年度の活動

提言後の市の子ども相談体制についての課題や問題点等について連携しながら、相談体制の構築を図っていきます。また、医療的ケアの実態把握と個別の支援計画ができたところで、今後の活用方法等について検討していく予定です。

●部会員

部会長：若槻洋貴（小笠原小学校特別支援コーディネーター）

部会員：小倉（生活支援センタークローバー）

事務局：佐野（障がい福祉課長）

秋山（放課後等デイサービスあそぼ）

小林（障がい福祉課自立支援担当）

渡邊（ひかりの家学園）

窪川（障害者相談支援センター）

田邊（福祉総合相談課）

小田嶋（障がい福祉課自立支援担当）

浅川（健康増進課）

（障害者相談支援センター）

小林（子育て支援課）

佐藤（あけぼの医療福祉センター地域支援課長）

令和3年度 南アールプス市自立支援協議会 < 子ども部会 > 年間予定表

【趣旨】 子どもの発達課題(医療的ケア含む)に対し、福祉サービス利用前からの対応状況を客観的検証し、適切な対応ができるよう関係機関との意見交換の場とする

【活動目標】

- ①障害福祉サービス利用に至った経過の検証として当事者の声を取る(新規窓口・更新時)
- ②進路を踏まえた福祉サービス(手帳・児童・放デイ等)の利用がなされているかの評価
- ③児の成長に合わせ各機関等との連携の現状把握と課題解決に向けた取り組み
- ④子どもに関わる支援者が正しい知識を持つ(研修等)
- ⑤医療的ケア児の実態把握

【今年度の目標】

- ・子どもの相談体制整備に向けた提言
- ・子どもにあった環境調整・居場所づくり・子どもの放課後・長期休暇の過ごし方の多様化が具現化でき
る。(医療的ケア含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程		第1回目 5月18日(木) 13時半～		第2回目 7月12日(月) 13時半～	第3回目 8月30日(月) 13時～		第4回目 10月5日(火) 13時半～					
会議		①異動に伴う役割確認 ②ゴールの確認 ③実態把握 ④スケジュール確認		提言たたき 台の確認加 除⇒完成8 月提出	・医療的ケア 実態把握 ・研修の希望を 取る		研修内容決 定					
研修				情報交換と情報提供(座談会形式)								
連携					座談会 8/18							
調査		アンケート準 備			医療・教育との実情共有の会							
事務局会議					アンケート 見学等							
内容	今年度の取り 組み確認 異動に伴う役 割確認				1回目内容⇒ 提言たたき台 作成							
定例会日程			6月17日								11月まとめ報告	2月

連絡会

-同種の事業所間による情報共有、ネットワークづくり-

計画相談事業所連絡会

● 計画相談事業所連絡会について

- ・ 計画相談支援・障害児相談支援の円滑な提供に向けて、市内の指定特定相談支援事業所の相談支援専門員が集まり、月1回開催している連絡会です。
- ・ 情報交換や意見交換を通じて相談支援専門員が抱え込まず、困り感や解決したいことを共有しお互いに支え合っていく場です。

● この1年の動きや出来事

- ・ 今年度は障害者相談支援センターと、市内相談支援事業所（10か所）から2事業所を選出してコアメンバーとし、共同して企画運営を行いました。
- ・ 昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、リモート会議（ZOOM）を積極的に活用し、状況に応じて、リモートと現地での参加を組み合わせたハイブリッド方式も取り入れながら、できるだけ多くの方が参加出来るよう体制を工夫しました。
- ・ 年度当初は相談支援事業所のグループ企画も検討していましたが、相談支援事業の報酬改定も重なった為、途中で内容を変更し加算・報酬改定の話を中心にモニタリング頻度の変更等について確認、協議を行いました。又、新型コロナウイルス感染症のBCP（業務継続計画）や成年後見センターとの研修会も行いました。

● 次年度の活動

- ・ 次年度も障害者相談支援センターと相談支援事業所の共同運営を継続していきます。
- ・ 今年度は実施できませんでしたが、相談支援従事者一人ひとりが主体となって連絡会を作り上げていくという観点から、次年度は各相談支援事業所が協働して毎月の企画を考える場を設けていきます。
- ・ 毎月の事例検討会と連動し、連絡会内でも地域課題を積極的に取り上げ、アイデアの共有等課題の解決方法を参加者全員で模索していきます。

● 参加事業所

きづな， ケアセンターまた明日， ★生活支援センタークローバー， 相談支援センターカマラド，
ともろうなんでも相談室， ドリームハート， HAPPY， ★ひなたぼっこ， ぼけっとはうす， レーベン
★：コアメンバーとして今年度の連絡会の運営に携わりました。

令和3年度 南アルプス市自立支援協議会 <計画相談連絡会> 年間予定表

【趣旨】	市内相談支援事業所間による情報交換やネットワーク作り
【活動目標】	市内相談支援事業所間による情報交換やネットワーク作り
	<p>【今年度の活動目標】</p> <p>『相談員のほっとできる場』</p> <p>『円滑に連携の取れる関係作り』</p> <p>『関係機関と情報共有が行える場』</p>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部会日程	第1回 4月15日	第2回 5月20日	第3回 6月17日	第4回 7月15日	第5回 8月19日	第6回 9月16日	第7回 10月21日	第8回 11月16日	第9回 12月16日	第10回 1月20日	第11回 2月17日	第12回 3月17日
内容	自己紹介	加算・報酬改定	権利擁護センターに関して	①報酬改正に関して ②BCPIに関して ③子ども部会座談会に関して	中止	①モニタリング頻度の変更に関して ②障害者虐待防止に関して	『南アルプス市の相談をみんなで考えよう!!』	成年後見センター専門職向け研修会	相談支援での課題解決を考える①	相談支援での課題解決を考える②	相談支援での課題解決を考える③	来年度に向けて
記録	まづな	ぼけっとはうす	レーベン	クローバー	△	カマラド	また明日	ひなたぼっこ	ドリームハート	HAPPY	ともろうなんでも相談室	
会場	南アルプス市役所 新館地階第1会議室 (毎月第3木曜 17:00 ~ 18:30)											

定例会日程												2月24日
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------

	R3	R4	R5	R6	R7
コアメンバー	ひなたぼっこクローバー	HAPPYカマラド	ともろうレーベン	まづなぼけっとはうす	また明日ドリームハート
	<コアメンバーにお願いしたいこと> 連絡会の進行、コアメンバー会議への参加 自立支援協議会定例会への参加、地域生活支援拠点事業運営会議への参加				

連絡会

-同種の事業所間による情報共有、ネットワークづくり-

就労事業所共有会議

●就労事業所共有会議について

- ・ 福祉就労事業所の横断的ネットワーク構築と就労ニーズ開拓の取り組みを推進していきます。
- ・ 情報交換や意見交換を通じて一事業所だけで抱え込まず、困り感や解決したいことを共有しお互いに支え合っていくことを目指します。

●今年度の活動内容

- ・ 年4回実施のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、第2回はリモート開催としました。
- ・ 事業所間の横断的ネットワーク構築の始めとして、グループワークを通じた意見交換会を実施しました。互いの業務を知る機会となっただけでなく、悩みや課題感を共有することはサポートティブな雰囲気醸成に役立ちました。
- ・ 今年度の報酬改定に関するミニレクチャーや、虐待防止センターからの情報提供など多岐に渡る企画を実施しました。また、事務局としても県が立ち上げた「つながるナビ」(仕事と事業所とのマッチングサイト)を市商工会を通して広報活動を展開しました。
- ・ 年度末に合同説明会「みっけ！」のリモート開催を予定していましたが、予想を上回る新型コロナの蔓延状況となり、開催を断念せざるを得ませんでした。

●次年度の活動案

- ・ 運営の方法・開催回数としては、今年度を踏襲して開催します。
- ・ 今年度断念せざるを得なかった事業所合同説明会「みっけ！」の開催、各事業所のニーズ整理、また事業所間の横のつながりの強化などに取り組んでいきます。
- ・ 就労事業所に関係する話題として、優先調達や農福連携についても議論をしていきます。

●参加事業所

会 長 ; 清水 (ジットたいよう)

副 会 長 ; 八巻 (みらいコンパニー)

コアメンバー ; 水地 (ケール)、和泉 (アルプスファーム)

参加事業所 ; ありがとう、アルプスファーム、ケール、サヴァ、ジョブスペースかけはし、
スマイルファクトリー、たいよう、どんぐりの家、みらいコンパニー、ゆめこころ、
ふおーらいふ、らしりば、ステップあい、また明日セルフサポート、アゲイン、
南アルプスかおりの家

事 務 局 ; 高野 (障がい福祉課自立支援担当)

遠藤・鹿山 (障害者相談支援センター)

令和3年度 南アールプス市障害者自立支援協議会 就労事業所共有会議 年間予定表

【趣旨】 福祉就労事業所の横断的ネットワーク構築と就労ニーズ開拓の取り組みの推進

【活動目標】

- ① 福祉就労事業所間の横のつながりを構築・維持する
- ② 就労のニーズを探り、新たな受注先の開拓
- ③ 事業所合同説明会の企画、運営

【今年度の進め方】

- ・年間4回開催
- ・就労事業所(A型、B型、移行)の従事者を招き、互いの情報交換や困りごとを共有し、解決の糸口を探っていく
- ・フリーマーケットのように自由に気楽に話せる場を提供する

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
会議日程		第1回 5月19日(水) 16:00~17:30				第2回 9月15日(水) 16:00~17:00			第3回 12月15日(水) 16:00~17:00			第4回 3月16日(水) 16:00~17:00
内容	新型コロナウイルス感染症防止の観点から 会議開催は慎重に検討していく											
	* 事務局にて市内の就労系事業所へ、参加を依頼する	・趣旨説明 ・各事業所の自己紹介				・他市の連絡会や地域の取り組みの紹介			・グループワーク ・虐待防止ミニ研修			・今年度の振り返り ・来年度の活動の概要を決定
コアメンバー会議	4月28日(水) 16:00~		6月25日(金) 16:00~		8月23日(月) 16:00~		10月27日(水) 16:00~					
みつけ！実行委員会												
定例会日程			6月17日(木) 書面開催				11月15日(月)					2月24日(木) リモート開催

専門部会企画書

名 称	感染症対策BCP作成プロジェクトチーム
趣 旨	感染拡大防止に向けた、関係機関の情報の流れが確認できるようなフロー作成を行い、支援が滞らないよう事業継続に向けられるようにする。
活 動 目 標	① 通所・居宅・入所・相談支援事業所メンバーからの意見をもとにたたき台作成 ② 定例会等周囲からの意見をもらい完成に向ける
活 動 期 間	令和3年5月～11月
設 立 時 の 部会メンバー	通所：小林小百合氏（青い樹の会）、居宅：深澤康子（やさしい手） 入所：親の会望月磨澄氏、ボヌール清水施設長
活 動 予 定	<p>第1回 6月 通所系サービス版の作成</p> <p>第2回 7月 相談支援事業所版の意見集約 (事務局がたたき台を作成し、連絡会で意見をもらう)</p> <p>第3回 7月上旬 居宅系サービス版</p> <p>第4回 8月下旬 入所系サービス版</p> <p>○参照：厚生労働省の業務継続ガイドライン 参加メンバーの事業所BCP 他市フロー</p> <p>○ここまでにあった連絡体制や判断に迷うところなど事例からの検討</p>
作 成 者	・小田嶋

新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

南アールプス市障害者自立支援協議会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた対策がとれ、支援が継続できるようガイドラインを作成しました。

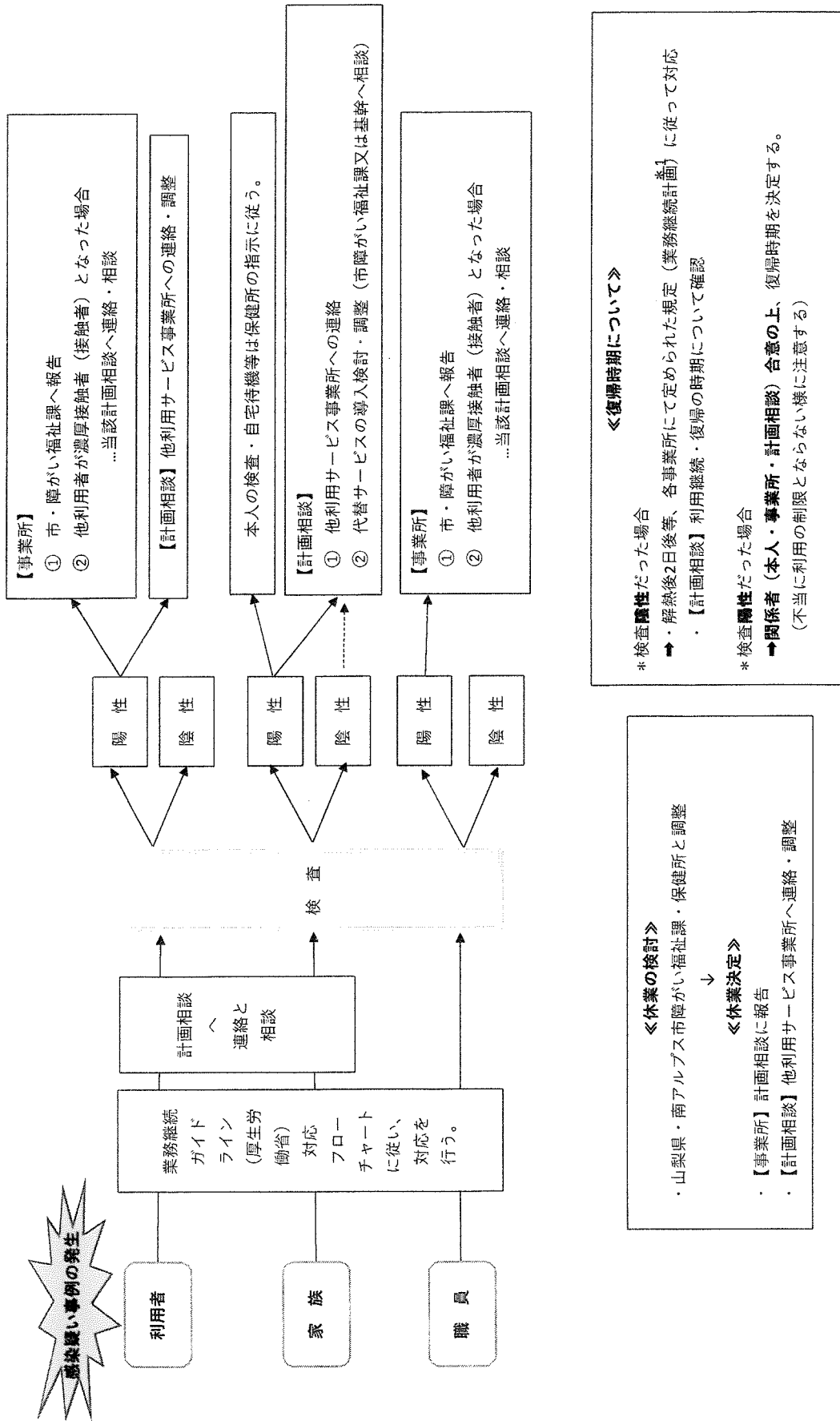
前提として「障害福祉サービス事業所等における感染症発生時の業務継続ガイドライン：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 令和2年12月」を理解の上、関係機関の情報の流れの確認に特化したものとなります。

基本方針：①感染予防 ②クラスター発生防止 ③不当で差別的な運用を防ぐ

南アールプス市障害者自立支援協議会

令和3年11月15日

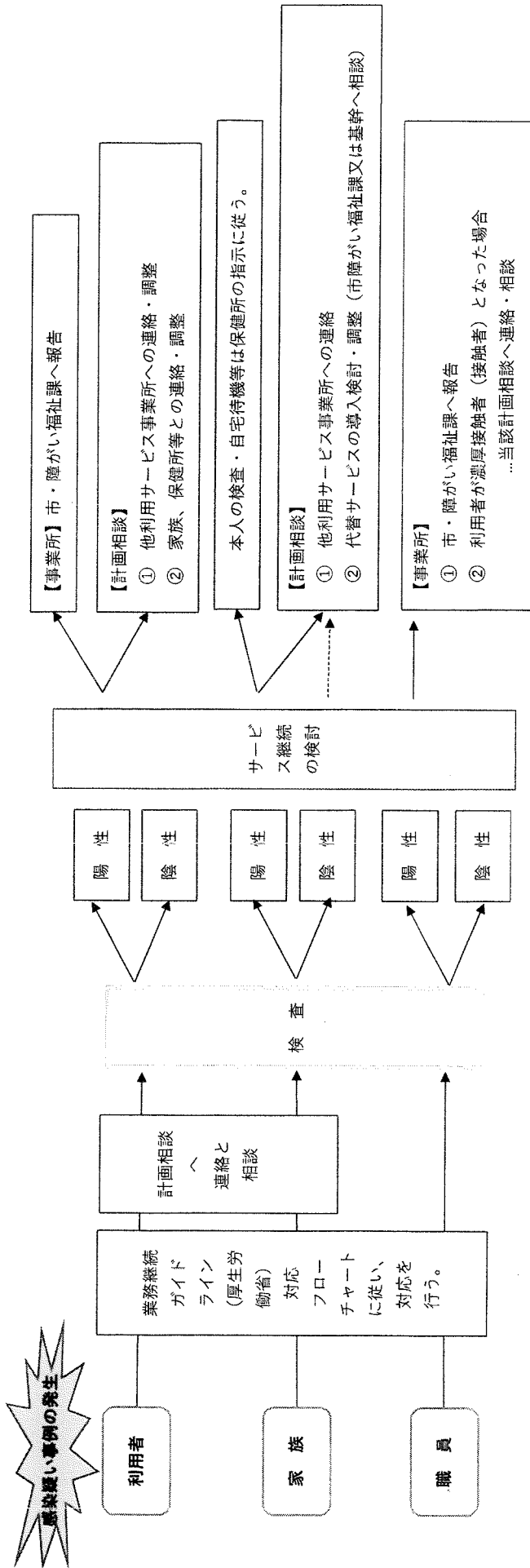
新型コロナウイルス感染疑い事例発生時、関係機関連携フローチャート（通所系）



* 1 業務継続計画...事前に備えておく

* ケースごとに予測される緊急対応について、モニタリング等を活用し、事前に検討しておく。

新型コロナウイルス感染症疑い事例発生時、関係機関連携フローチャート（居宅系）



※検査陽性だった場合
 → 解熱後2日後等、各事業所に定められた規定（業務継続計画）に従って対応
 ・【計画相談】利用継続・復帰の時期について確認

※検査陽性だった場合
 → 関係者（本人・事業所・計画相談）合意の上、復帰時期を決定する。
 （不当に利用の制限とならない様に注意する）

※1 業務継続計画...事前に備えておく

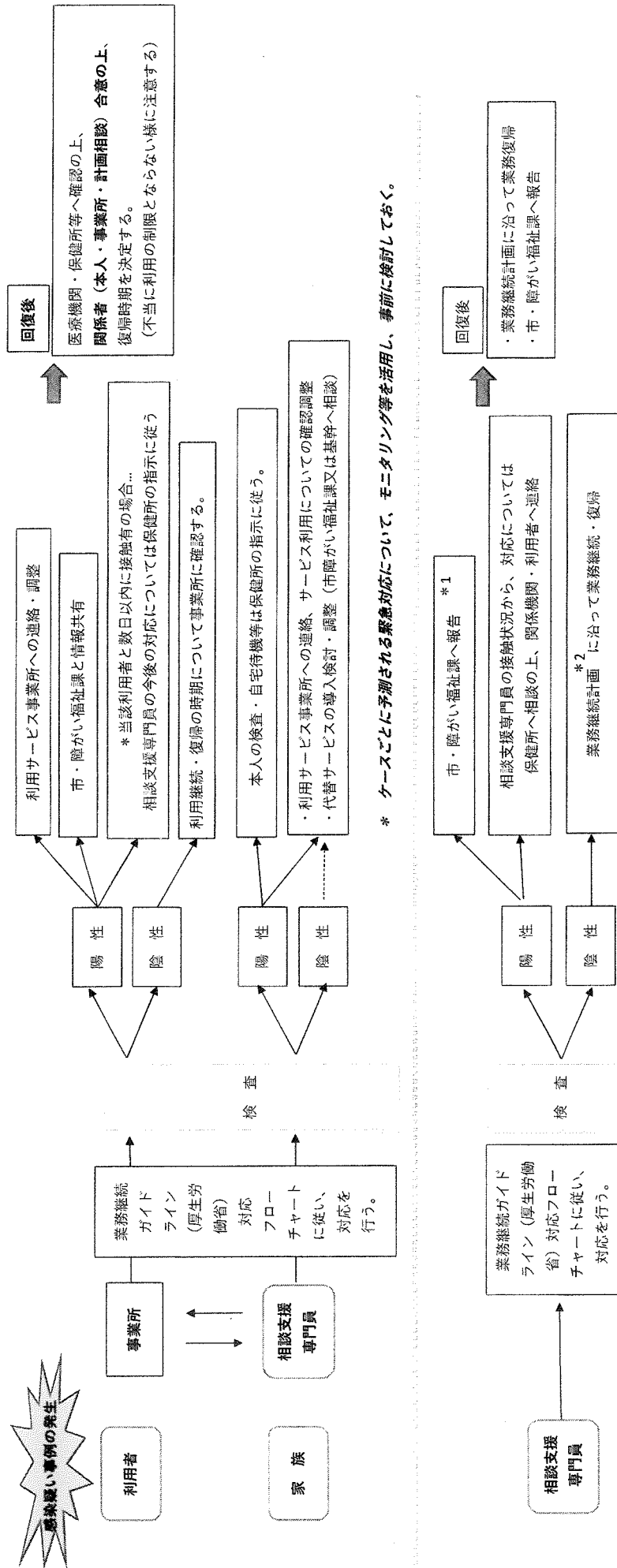
《休業の検討》
 ・山梨県・南アールプス市障がい福祉課・保健所と調整

↓

《休業決定》
 【事業所】・計画相談に報告
 【計画相談】・他利用サービス事業所へ連絡・調整
 ・代替サービス事業所の検討

* ケースごとに予測される緊急対応について、モニタリング等を活用し、事前に検討しておく。

新型コロナウイルス感染症事例発生時、関係機関連携フローチャート（相談支援事業所系）

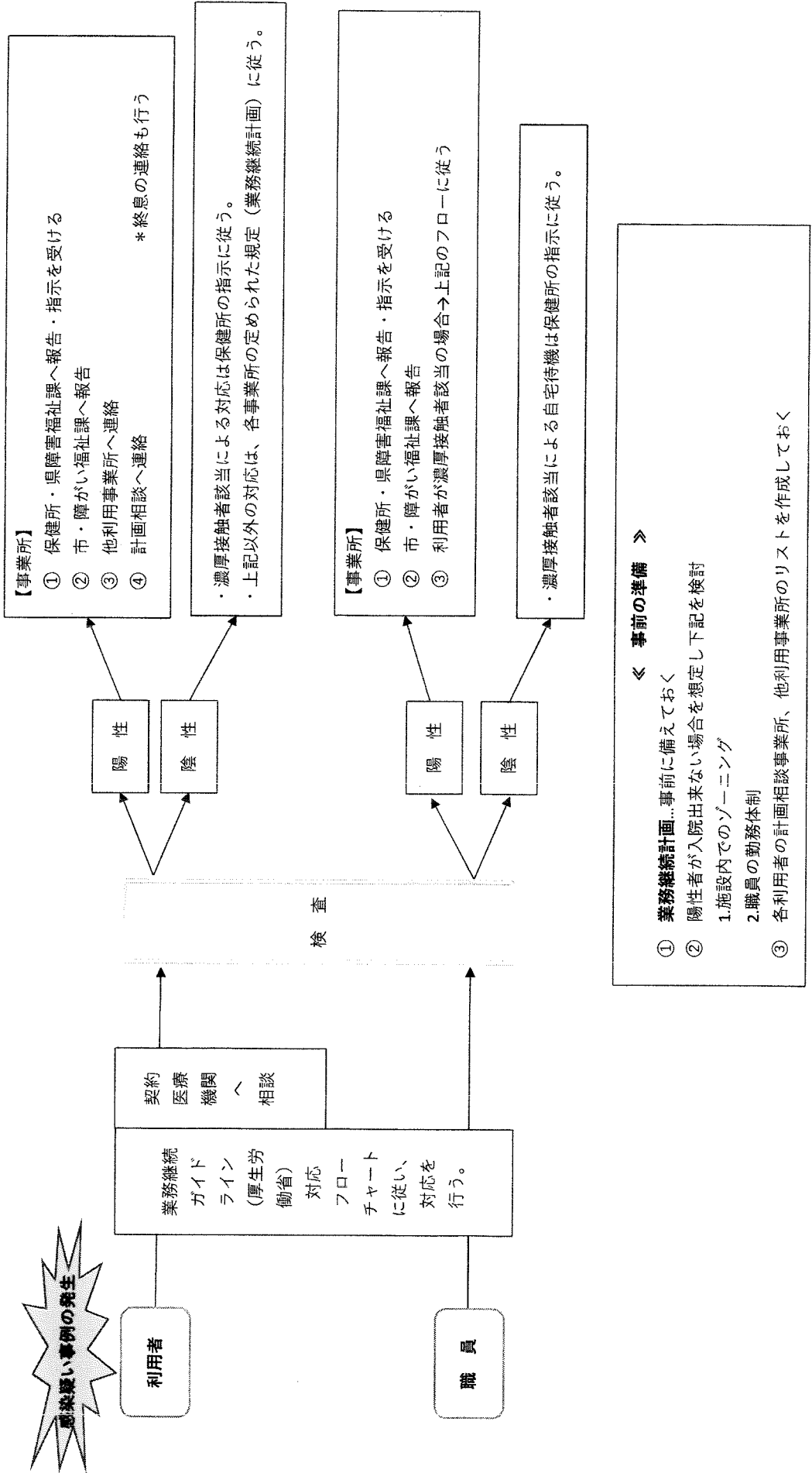


* ケースごとに予測される緊急対応について、モニタリング等を活用し、事前に検討しておく。

*2 業務継続計画...事前に備えておく

- *1 一人事業所や他相談支援専門員も濃厚接触者となるなど、事業運営に支障が見込まれる場合...
- ※ 市障がい福祉課 自立支援へ相談
- ◆ 新規、変更・更新が迫っているケース
→必要書類（サービス等利用計画）が提出出来ない場合等は、緊急的にセルフプランによる支給決定を行う。
（セルフプラン作成の補助は基幹で対応）
定期モニタリングの取り扱い
→相談支援専門員が回復後、定期モニタリングを行う。

新型コロナウイルス感染症疑い事例発生時、関係機関連携フローチャート（入所系）



令和3年度 南アールプス市自立支援協議会 <感染症対策BCP作成PT> 年間予定表

【趣旨】 市内事業所の対策との連動で感染予防や拡大を防ぎ、支援が滞らないよう事業継続に向けて
 【目標】 季節的にも感染拡大が予測される冬季まで(11月の定例会で提案できるように)フローチャートの完成を目指す

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
会議日程		第1回 6月7日(月) 10時~	第2回 7月15日(木) 17時~	第3回 7月26日(月) 13時半~	第4回 8月30日(月) 10時~				
内容		通所系サービス版	相談事業所版 (計画相談連絡 会でたたきをも とに作成)	居宅系サービス版	入所系サービス版			ガイドライン 完成	市内事業所へ ガイドライン送 付 アンケート実施
事務局会議		5月13日	6月23日						
内容		内容・メンバー スケジュール	相談事業所の たたき作成						

定例会日程	第1回 6月17日							第2回 11月15日

必要資料: 国のガイドライン
 市の流れ
 先行している他市の資料

メンバー
 通所: 小林小百合氏(青い樹の会)
 居宅: 深澤康子氏(やさしい手)
 入所: 望月磨澄氏(親の会)
 ボヌール清水施設長
 事務局:
 田中正志氏(R3協議会会長)
 遠藤久美子・小田嶋悦子(障害者相談支援センター)

地域生活支援拠点

●地域生活支援拠点について

- ・地域生活支援拠点事業は、障害者等の高齢化及び障害の重度化並びに「親亡き後」を見据え、障害者等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、障害者等の生活を地域全体で支える障害者サービス提供体制を構築することを目指し協議を重ねてきました。
- ・本市の実態に合った地域生活支援拠点の整備が重要であり、課題や問題点の整理を行い課題解決に取り組むことが必要でした。

●この1年の動きや出来事

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止による3密をさけるための対策として、会議等の中止を受け、思うように協議ができませんでした。新たに2名の登録や民生委員向けに資料を送付し、周知を図りました。

R3.4 個別支援会議 対象者2名 登録

R3.5 民生委員定例会

コロナ感染状況により集合開催中止となる。地域生活支援拠点事業資料配布

R3.8 運営会議 延期

R4.1 運営会議

- ・事業所登録についての理解を深める取組について
- ・実施要領の見直し

●登録状況

当事者：2名 事業所：3法人 18事業所

●次年度の活動

- ・本事業の進捗状況管理や課題等の解決に結びつけるため、拠点運営会議を開催していきます。また、先進地の視察または研修等を計画し、本市の地域生活拠点次号の充実を図る取り組みを行う予定です。
- ・市内の事業所が地域生活拠点事業への理解を深め、登録し活動できる体制を構築できるようなPR活動を展開していきます。
- ・コロナ禍ではありますが、Zoom等の環境を利用し、会議の中止がないように取り組んでいきます。
- ・地域生活支援拠点が地域で暮らす障害者の安心につながるよう、「相談」「緊急時受入」「体験の場」「人材育成」「地域づくり」の機能について実効的に実行できるよう協議していきます。

●メンバー

部会員：塩澤（育精福祉センター）

有野（社会福祉法人 蒼溪会）

秋山（ケアセンターまた明日）

飯室（中北圏域マネージャー）

保坂（生活支援センタークローバー）

早川（甲西福祉会 ひなたぼっこ）

事務局：佐野（障がい福祉課長）

小林（障がい福祉課自立支援担当）

宮川（障がい福祉課自立支援担当）

窪川（障害者相談支援センター）

-わがまちの障害者施策の推進、地域の福祉課題の施策化-

南アルプス市障害者施策推進協議会

●障害者施策推進協議会について

南アルプス市の障害者施策の進捗状況の評価や、推進のための方策について協議します。同時に、自立支援協議会で協議され施策化が必要な事項について、市への提言につなげる場となります。障害者団体や福祉、就労、医療、教育等の代表者 20 人で構成され協議します。

●令和3年度の主な取組み

1. 第1回協議会

協議内容

- (1) 南アルプス市障害福祉サービス提供状況について
第6期障害福祉計画、第2期障害児福祉計画策定に伴い、障害福祉サービスの提供状況について現状と課題について協議しました。
- (2) 障害者福祉手当について
現状の支給状況や課題等について、意見交換等を行いました。

2. 第2回協議会

協議内容

- (1) 障害者自立支援協議会子ども部会からの提言について
「子どもの相談支援体制への提言」「子どもの居場所づくり」を目標に、子どもの成長に必要な支援体制について、本市としてあるべき方向性について提言としてまとめた内容について協議した結果、当協議会から市へ提言することを決定しました。
- (2) 心身障害者福祉手当支給事業について
現状の本市の支給状況や近隣市町の状況等について情報共有し、手当の支給に関する意見交換等を行いました。

●今後に向けて

- ・南アルプス市の障害者施策について、年度ごとの進捗状況の評価を進めます。評価を進める中で、議論すべき事項について議題として取り上げていきます。
- ・自立支援協議会との連動を強化し、南アルプス市の障害者施策の推進に取り組みます。

令和3年度南アールプス市障害者自立支援協議会 年間スケジュール

令和4年度3月31日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考	
定例会			6.17(木) 紙面開催					11.15(月)				2.24(木) ZOOM		定期開催
運営会議	4.22(木)	5.24(木)						11.15(月)	12.23(木)			2.24(木) ZOOM		定例会前後
地域移行部会	4.9(金)	5.7(金)		7.16(金)	8.2(金)	9.21(金)	10.22(金)	11.19(金)	12.16(金)	1.14(金)	2.22(金)	3.11(金)		毎月
権利擁護部会	4.19	5.17	6.24 虐待防止基 礎研修	7.16		9.8 9.22キャラ バン研修		11.24			2.14			適宜
子ども部会		5.18(木)		7.12(月)	8.30(月)		10.5(火)			1.25研修	2.25事例検 討			適宜
計画相談支援連絡会	4.15(木)	5.2(木)	6.17(木)	7.15(木)	8.19(木)	9.16(木)	10.21(木)	11.18(木)	12.16(木)	1.20(木)	2.17(木)	3.17(木)		第3木曜日
就労事業所共有会議	4.28 コアパ-会議	5.19	6.25 コアパ-会議		8.23 コアパ-会議	9.15 ZOOM	10.27 コアパ-会議	11.25 コアパ-会議	12.15	1.11 コアパ-会議	2.17 コアパ-会議	3.16 ZOOM		適宜
感染症対策BCP作成PT				7.15計画相談 7.26居室	8.30入所									適宜
事例検討会ほっと		5.14(金)	6.18(金) 中止	7.9(金)	8.13(金) 中止	9.10(金) 中止	10.8(金)	11.12(金)		1.14(金)	2.10(木) 中止			月1回
障害者施策推進協議会						9.29						3.28		年1~2回
地域生活支援拠点会議	4.2 個別登録調整									1.17 運営会議				
途切れない支援連携会議					8.5(木) 8.11(水) 研修			11.18(木)			2.15(火)			年4回
県自立支援協議会関係					8.2(月) 合同協議会									

令和3年度南アルプス市障害者自立支援協議会 委員名簿

NO	区分（要綱第3条第2項）	所 属	氏 名
1	(1)障害者及びその家族	当事者	玉置 祐司
2	〃	当事者	岩出 広子
3	〃	当事者家族	河野 由乃
4	(2)障害者福祉に従事する者 障害者施策推進協議会会長	特定非営利活動法人ジョブクリエイター	ジョブスペースかけはし
5	〃 計画相談支援連絡会会長	NPO法人甲西福祉会	ひなたぼっこ
6	〃	株式会社やさしい手甲府	南アルプス営業所
7	(3)相談支援に従事する者	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	生活支援センター クローバー
8	〃 地域移行部会長	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センター カマラド
9	〃 権利擁護部会長	社会福祉法人青い樹の会	レーベン
10	〃 中北圏域マネージャー	社会福祉法人三井福祉会	アンダンテ
11	〃	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センター カマラド
12	〃	社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会	ふくし相談支援センター
13	(4)保健医療に従事する者	特定医療法人南山会	峡西病院
14	(5)教育又は療育に従事する者 子ども部会代表	社会福祉法人ひかりの家	ひかりの家学園
15	〃	南アルプス市教育委員会	学校教育課
16	(6)就労支援に従事する者	NPO法人ジット会	たいよう
17	(7)地域福祉に従事する者	南アルプス市福祉総合相談課	地域福祉担当
18	〃	社会福祉法人南アルプス市社会福祉協議会	北部包括支援センター
19	(8)前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者		-

令和3年度南アルプス市障害者自立支援協議会 運営会議メンバー

NO	区分（要綱第9条）	所 属	氏 名
1	会長	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会	生活支援センター クローバー
2	副会長	社会福祉法人蒼溪会	相談支援センター カマラド
3	中北圏域マネージャー	社会福祉法人三井福祉会	アンダンテ
4	会長が指名する者 事務局	南アルプス市障がい福祉課	課長
5	〃 〃	〃	自立支援担当
6	〃 〃	〃	〃
7	〃 〃	〃	〃
8	〃 〃	南アルプス市障害者相談支援センター	(ぼけっとはうす)
9	〃 〃	〃	(カマラド)
10	〃 〃	〃	(クローバー)
11	〃 〃	〃	小田嶋 悦子

